

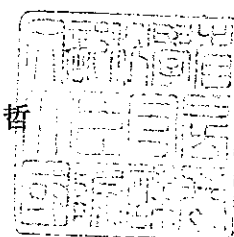
平成31年4月9日

各都道府県教育委員会教育長
各指定都市教育委員会教育長
各都道府県知事
各指定都市市長
附属学校を置く各国立大学法人学長
附属学校を置く各公立大学法人の理事長

殿

文部科学省大臣官房国際課長

奈良 哲



(印影印刷)

2019年度日米教員交流プログラムについて（お知らせ）

文部科学省は、2009年度から米国政府と共同で、国際交流や国際理解に意欲のある教員を対象に「日米教員交流プログラム」を実施しています。本プログラムは、日米両国政府の出資により日米教育委員会（フルブライト・ジャパン）の事業として実施しており、2019年度は、下記の通り、学校教育現場でのICT活用に焦点を当て、日米教員間の教育交流を実施いたします。

つきましては、所管の学校における国際交流の推進に本プログラムを活用くださるようお願いいたします。

記

交流時期：2019年8月4日（日）～8月11日（日）

場 所：米国ハワイ州ハワイ島

対 象：中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、各都道府県・市町村教育委員会に勤務する教員

募集締切：5月20日（月）正午

備 考：諸費用は主催者側が負担します。その他詳細は添付の募集要項を参照のこと。

<https://www.fulbright.jp/sep/ict2019.html>

以上



本件連絡先

文部科学省大臣官房国際課 人物交流係（瀬戸）

〒100-8959 千代田区霞が関3-2-2

（電話）03-5253-4111（内線4751）

2019 年 ICT 日米教員交流プログラム

参加教員 募集要項

日米教育委員会（フルブライト・ジャパン）は、「宇宙と地球」を題材に Information and Communication Technology (ICT) を活用した交流授業の設計と実施を通じて日米相互理解の促進を目的とする日米教員交流プログラムを 2019 年 8 月に実施します。つきましては、以下の要領で本プログラムの参加教員を募集します。

1. プログラムの主旨

2019 年 ICT 日米教員交流プログラムは、2009 年度より 2018 年度まで実施した ESD 日米教員交流プログラムの後継プログラムで、日米両国政府（文部科学省と米国国務省）で資金を分担し、日米教育委員会主催、Institute of International Education (IIE) を運営パートナーとして 2019 年 8 月に実施します。本プログラムでは、日米両国の中学校、高等学校で ICT を学校教育現場に導入している、または導入する具体的な予定を持ち、日米間での交流を推進する意欲のある現職教員を対象に、「ICT を活用し“宇宙と地球”を使った授業づくり」をテーマとして、日米間で教員の相互交流、意見交換、共同研究を行うことにより、日米の教育交流を図ることを目的としています。参加者自身が取り組み、共同で大きなアウトプットを求められる参加型プログラムです。

2. プログラムの概要

今回募集する 15 名の日本側参加教員は 2019 年 8 月に約 1 週間の日程で訪米し、15 名の米国側教員と 5 日間の会議（ワークショップ、グループディスカッション）に臨みます。この 5 日間の会議では、学びの場における ICT の役割と可能性、21 世紀型コンピテンシー、教育からみた日米交流、等について講義、ワークショップ、施設訪問を実施する予定ですが、両国の参加教員は、「宇宙と地球」を題材に ICT を活用した交流授業（共同プロジェクト）を立ち上げることが最終目的です。プログラム終了後はその実現に努めることが求められます。「宇宙と地球」を題材にしながら、ICT を活用し 21 世紀に求められる資質と能力を育む教育について理解を深め、プログラム参加者間の交流体験を活かしながら、各々の教員が所属する学校において両国の教育交流を推進することを意義としています。プログラム参加後には報告書の提出が義務付けられます。

3. スケジュール案（2019 年 4 月 1 日現在予定）

8 月 4 日	(日)	東京午前集合、出発前オリエンテーション、米国ハワイ州ハワイ島へ出発、同日到着
8 月 5 日	(月)	米国教員とのワークショップ（講義、交流ワークショップ）
8 月 6 日	(火)	米国教員とのワークショップ（講義、共同プロジェクト企画のためのディスカッション）
8 月 7 日	(水)	関連施設訪問
8 月 8 日	(木)	米国教員とのワークショップ（共同プロジェクト企画のためのディスカッション）
8 月 9 日	(金)	共同プロジェクト発表、まとめ
8 月 10 日	(土)	東京に向けて出発
8 月 11 日	(日)	東京着

4. 応募資格要件

1. 日本国籍を有している学校教育法に定める中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、及び都道府県・各市町村教育委員会に勤務する教員。5年以上の教員経験がある者が望ましい。
 - 主幹教諭
 - 指導教諭
 - 教諭
 - 指導主事
 - 社会教育主事
2. 学校長もしくは教育長からの推薦状が得られる者。
3. プログラム参加準備期間から参加中ならびに参加後も積極的に日米相互交流を深める活動に取り組む姿勢を持つ者。
4. 心身ともに健康で団体の一員としてプログラム全期間（2019年8月4日から11日）に参加可能な者。

註1：プログラム期間中は日英通訳がつくので、英語でのディスカッション能力は必須ではありませんが、参加者はその後の交流のために日常英会話程度はできること、言語能力いかににかかわらず積極的に米国側参加者と関わることが求められます。

註2：プログラムの目的として ICT の活用がありますので、参加教員はプログラム参加準備期間からメール、データのやり取りを含むコンピュータスキルが求められます。また、プログラム参加時にはコンピュータもしくはタブレットを持参することが必須となります。

註3：「宇宙と地球」を題材にしたプログラムですが、理数系教員に限定したプログラムではありません。あくまでも「宇宙と地球」は授業の題材です。

註4：過去に JFME 教員プログラム、ESD 日米教員交流プログラムの参加経験がある場合でも、「宇宙と地球」という題材を自身の教える教科で扱えるということを示せば応募いただけます。

5. 応募方法

下記サイトにて参加希望教員ならびに推薦者がそれぞれ応募手続きを期日までに完了してください。

<https://www.fulbright.jp/tok/sep/index.php>（参加希望教員）

<https://www.fulbright.jp/tok/sep/rec.php>（推薦者）

（登録開始予定日：2019年4月16日）

郵送による受付はいたしません。

なお、登録開始日以前には登録内容を下記サイトにてご覧いただけます。

<https://www.fulbright.jp/sep/ict2019app.pdf>（参加希望教員）

<https://www.fulbright.jp/sep/ict2019ref.pdf>（推薦者）

6. 締め切り

2019年5月20日（月）正午 オンライン登録締切

7. 選考日程および結果通知

2019年4月 募集発表・オンライン登録開始

2019年5月20日(月) 正午 オンライン登録締切

2019年5月20日～6月6日 書類審査実施

2019年6月11日(火) 書類審査の結果通知

オンライン登録いただいた電子メールアドレスへの「返信」で、結果を通知します。

書類審査通過の方はオンライン面接となります。

2019年6月16日(日) 面接審査実施

オンライン面接 (スカイプ)

2019年7月第1週 面接審査の結果通知

オンライン登録いただいた電子メールアドレスへの「返信」で、結果を通知します。

8. 参加費

本プログラムに参加するにあたっての下記費用は主催者側が負担します。米国への渡航費、宿泊費、海外旅行保険、自宅最寄り新幹線駅もしくは空港から往路・復路で利用する羽田・成田空港までの往復交通費、食費（一部を除く）及びプログラムに関わる雑費。

9. お問い合わせ先

よくある質問 <https://www.fulbright.jp/sep/ict2019faq.pdf> をお読みになった上でさらにご質問がある場合、ウェブサイトのお問い合わせフォーム <https://www.fulbright.jp/contact.html> をご利用ください。

日米教育委員会（フルブライト・ジャパン）広報・特別交流事業部「ICT 日米教員交流プログラム応募係」

〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-14-2 山王グランドビル 207

電話：03-3580-3231（月～金：14:00-17:00）URL: <https://www.fulbright.jp/sep/>



The Fulbright Experience for Global Leaders

日米教育委員会（フルブライト・ジャパン）について
フルブライト交流事業を通じ日米間の教育・文化・学術交流を推進するため、日米両国間の協定により1951年に設立された国際機関です。以来、フルブライト交流事業に加え、米国高等教育に関する情報提供、ならびに日米教員交流プログラム事業を実施しています。

